

経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道 美幌市

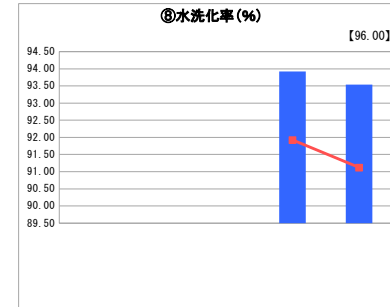
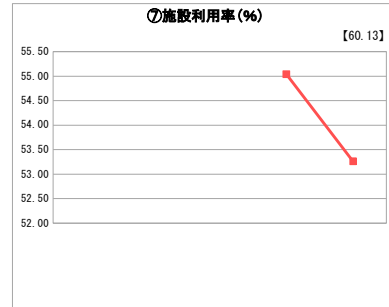
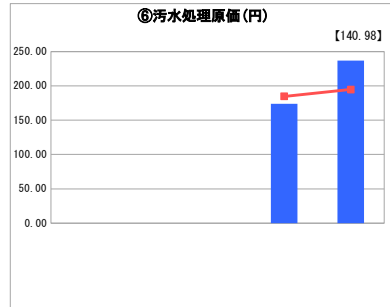
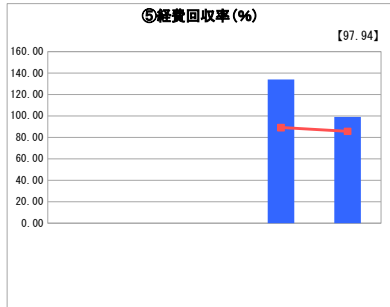
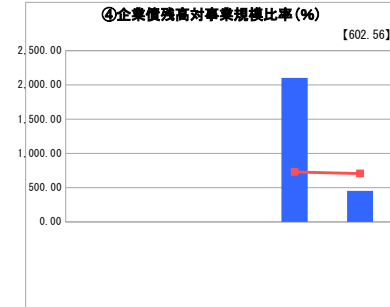
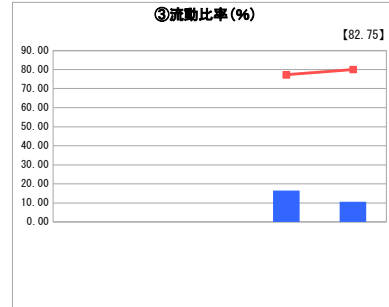
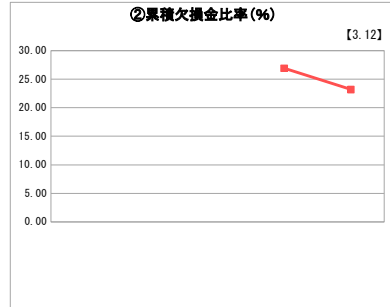
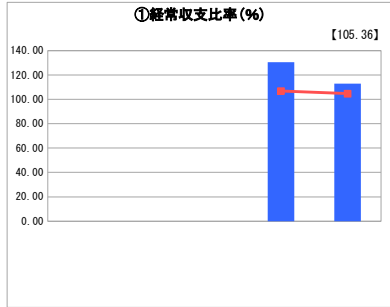
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	66.14	76.60	71.29	5,090

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,427	277.69	66.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,967	9.23	1,513.22

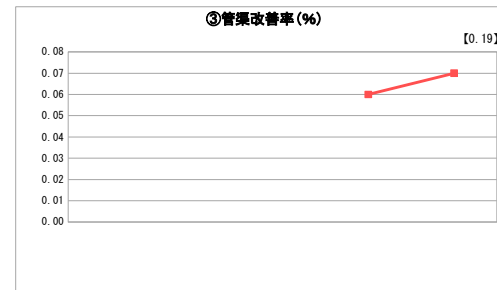
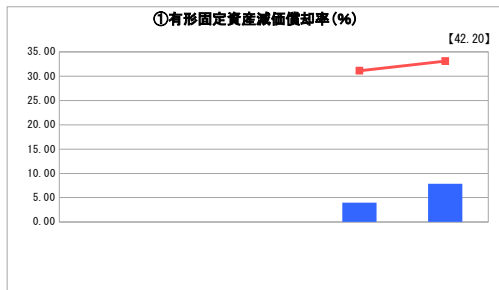
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

美幌市の公共下水道は令和5年度から公営企業法を適用しています。
 ①経常収支比率について112%となっているが、これは一般会計補助金や長期前受金戻入など営業外収益による所が多いですが、②欠損金は生じておりません。④企業債残高対事業規模比率の示す通り、前年度の2099%から、450%となっており、建設当初に借入れた企業債償還のピークを過ぎ、類似団体より低くなりました。⑤の流動比率が類似団体より低いのは、現金不足分を一般会計から繰入っているため、企業債償還金を除いた状態で随っており、⑤経費回収率が99%と経費を料金でほぼ回収出来ている状態ではありますが、⑥汚水処理原価は類似団体平均より高くなっております。これは、一般会計との負担区分の見直しにより昨年より高くなったものです。

2. 老朽化の状況について

美幌市の公共下水道は、平成元年に供用開始がされた以降も管渠整備を進めてまいりました。平成23年度には整備地区がありませんでしたが、平成24年度からは再び整備を開始し、現在も継続中です。下水道管渠の標準的な耐用年数は40～50年と規定されており、このことから美幌市の下水道管渠は耐用年数まで到達していない状況ですが、令和2年度から老朽化対策としてストックマネジメント計画を策定し、この計画に基づき施設調査・点検・修繕を図りながら、維持管理に努めてまいります。

全体総括

法適用2年目の美幌市の公共下水道は、良好な経営状況に見えますが、これは一般会計から出資を受けているからであり、今後も続くとは限りません。平成元年に供用開始がされて以降、生活様式の変化や人口減少により収益率の減少、原価率の高騰が見られ、今後は原価率・収益率の適正な水準を検討する必要があります。このことから、引き続き経費削減に努めるとともに、適正な料金の見直しなどを行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみを類似団体平均値及び全国平均を算出しています。